



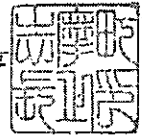
志 土 第 816号
平成20年10月8日

国土交通省 道路局長様

志摩町長

末崎

亭



今後の道路行政についてのご意見・提案について

標記の件について、別紙のとおり提出致します。

道路は、人間が社会生活を営むうえで、最も大切な社会資本であり、将来にわたり、地域の発展を支えるものです。

しかも、この社会資本は、公共事業でないと出来ないし、多額の投資と長い年月を要するものであり、しっかりした長期計画が必要です。最近の国の道路行政は財政逼迫という特殊事情があるにせよ、基本方針が揺らいでいるように思えてなりません。社会資本の整備は、時の政府の都合等によって度々変更されるようであっては、国民は安心して国づくりに参加できません。

我が町には国道や鉄道はなく、主要交通手段は県道や町道のみです。道路特定財源やガソリンの暫定税率の議論などでは、高速道路や基幹道路の話題ばかりで、地方の生活道路のことなど殆ど出なかったような気がします。

鉄道のない我が町にとっては、道路の果たす役割がいかに重要であることは認識しておりますので、是非とも今回の中期計画では、生活者の視点に立ち利便性や環境を配慮した計画を樹立して頂きたい。

②－1 地域の現状と抱える課題

福岡県 志摩町

○現状 我が町は、古来から対馬暖流の影響で農・漁業に適し、それを基幹産業として発展してきた町です。しかし、近年、産業構造の変化に伴い、農・漁業は衰退の一途を辿り、若者の都会流出が激しくなっています。 このような現象に歯止めをかけるため、九州大学(伊都キャンパス)を中心とした、学術研究都市づくりに向けた都市計画を定め、企業誘致と居住空間整備に着手しているところですが、残念なことにそれに相応しい道路がなく苦慮しています。	○課題 学術研究都市の骨格道路として、西九州自動車道前原インターから、志摩町の中心を經由して九州大学伊都キャンパスまでの道路の建設。 (学研構想では学園通線西回りルートと称している)
---	--

1. 一次産業の構成を農業10%、漁業10%を確保し、福岡都市圏の生鮮食糧基地の一翼を担う。
2. 公害のない企業を誘致し、若者の働く場づくりと税収の向上を図る。
3. 学術研究に相応しいまちづくりを進め、住民の文化意識の高揚を図る。
4. 自然環境と海岸の白砂青松を保全し、海洋スポーツの振興を図る。
5. アーティストの誘致を図り、芸術文化村を建設する。

今後の道路行政について意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

福岡県 志摩町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他